

浜田市定住自立圏共生ビジョン 成果指標の進捗状況

(2019年度実績)

1 調査方法

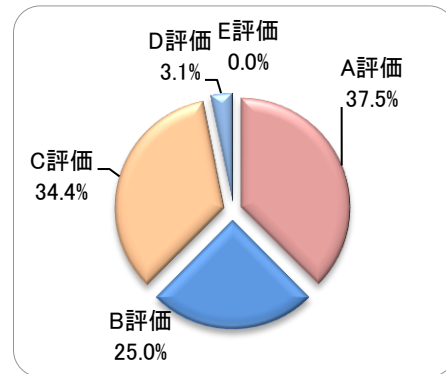
32項目の目標に対する2019度末の現状値から2019年度の進捗状況进行评估した。

2 調査結果

(1) 各年度の進捗評価

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果・実施があった
- 「B」 計画を少し下回る成果・実施があった
- 「C」 計画の半分程度の成果・実施となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果・実施となった
- 「E」 ほとんど成果・実施がなかった

構成比



(2) 「成果指標」の進捗状況

	項目数	進捗状況					
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価	
1 生活機能の強化に係る取組	13	4	3	6	0	0	
A 医療	1	0	0	1	0	0	
B 福祉	6	(4→) 3	(1→) 2	1	0	0	
C 教育	2	1	1	0	0	0	
D 産業振興	4	0	(1→) 0	(3→) 4	0	0	
2 結びつきやネットワークの強化に係る取組	16	7	4	4	1	0	
A 地域公共交通	3	(2→) 1	0	(1→) 2	0	0	
B デジタル・デバイドの解消に向けたICTインフラ整備	1	1	0	0	0	0	
C 道路等の交通インフラの整備	5	2	2	0	1	0	
D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	1	(1→) 0	(0→) 1	0	0	0	
E 地域内外の住民との交流・移住促進	6	(1→) 3	(2→) 1	(3→) 2	0	0	
3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組	3	1	1	1	0	0	
A 宣言中心市等における人材の育成	3	1	1	1	0	0	
合計	32	(13→) 12	8	(10→) 11	1	0	
		(100.0%)	(37.5%)	(25.0%)	(34.4%)	(3.1%)	(0.0%)

連携する具体的事項

1 生活機能の強化に係る取組 13項目

A 医療

エ ヘき地医療確保体制の充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加（へき地診療所等5施設）	3人	4人	2人	-100.0%	C	健康医療対策課
※中山間地域の医療を支えるへき地診療所等の医師の人数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	3人	3人	2人	2人	—	—
	0.0%	0.0%	-100.0%	-100.0%	—	—
	B	B	C	C	—	—
【進捗状況】 地域医療・総合診療マインドを持った医師の育成に力を注いだが、浜田医療センター総合診療科と国保診療所の医師確保に繋がらなかった。						
【今後の取組】 県や大学の連携を基に、引き続き該当医師への働きかけを行う。特に医学部5年生以上から可能性のある人に具体的に働きかけ、更なる戦略を立てる。						

B 福祉

ア 子育て支援環境の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 認可保育所定員数の増加	1,895人	1,955人				
※認可保育所の定員数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	1,875人	1,980人	1,935人	1,935人	—	—
	-33.3%	141.7%	66.7%	66.7%	—	—
	A	A	B	—	—	—
2019年度以降、目標値を2,000人に上方修正						
	1,895人	2,000人	1,935人	38.1%	B	子育て支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	1,875人	1,980人	1,935人	1,935人	—	—
	—	—	—	38.1%	—	—
	—	—	—	B	—	—
【進捗状況】 保護者のニーズを踏まえた上で施設が適正規模となるよう定員設定を行った。						
【今後の取組】 引き続き、保護者のニーズを踏まえた適切な定員設定に努める。						
② 放課後児童クラブ定員数の増加	790人	850人				
※放課後児童クラブの定員数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	790人	825人	875人	875人	—	—
	0.0%	58.3%	141.7%	141.7%	—	—
	B	B	—	—	—	—
2018年度以降、目標値を875人に上方修正						
	790人	875人				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	790人	825人	875人	875人	—	—
	—	—	100.0%	100.0%	—	—
	—	—	A	—	—	—
2019年度以降、目標値を905人に上方修正						
	790人	905人	875人	73.9%	B	子育て支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	790人	825人	875人	875人	—	—
	—	—	—	73.9%	—	—
	—	—	—	B	—	—
【進捗状況】 手狭となっている1か所の児童クラブについて、2020年10月からの移転を決定した。						
【今後の取組】 民間施設の活用等を検討し、更なる定員の増加に努める。						

③ 地域子育て支援拠点数の増加 ※地域子育て支援拠点数	2施設	3施設				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	2施設	2施設	3施設	4施設	—	—
	0.0%	0.0%	100.0%	200.0%	—	—
	A	A	A	—	—	—
2019年度以降、目標値を4施設に上方修正 <目標達成>	2施設	4施設	4施設	100.0%	A	子育て支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	2施設	2施設	3施設	4施設	—	—
	—	—	—	100.0%	—	—
	—	—	—	A	—	—
【進捗状況】 老朽化した子育て支援センター「すくすく」の整備については、子育て世代包括支援センター基本構想を策定し、今後の整備の方向性を決定した。地域の子育て支援拠点施設については、旭自治区において、4施設目の子育て支援センター「あさひなないろクラブ」が開所となった。						
【今後の取組】 当市の子育て支援センターの中核施設と位置付ける子育て世代包括支援センター（子育て支援センター「すくすく」）について、2022年4月の開設に向けて整備を進める。また、それぞれの子育て支援センターの連携を強化し、支援の充実を図る。						

イ 高齢者・障がい者福祉サービスの充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 要介護認定率の増加の抑制（要介護者のみ） ※65歳以上の高齢者のうち、要介護1以上の認定者の割合 <目標達成>	18.8%	19.6%	18.1%	187.5%	A	健康医療対策課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	18.7%	18.6%	18.4%	18.1%	—	—
	112.5%	125.0%	150.0%	187.5%	—	—
	A	A	A	A	—	—
【進捗状況】 目標値を達成したが、今後も要介護認定率の増加の抑制に取り組む。						
【今後の取組】 引き続き介護予防事業に取り組み、更なる認定率低下を図る。						
② 認知症サポーター養成講座受講者数の増加 ※認知症の人と家族を地域で見守る応援者養成講座の受講者の総数 2019年度以降、目標値を7,500人に上方修正	3,696人	6,000人				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	5,262人	5,802人	6,525人	7,176人	—	—
	68.0%	91.4%	122.8%	151.0%	—	—
	A	A	A	—	—	—
3,696人	7,500人	7,176人	91.5%	A	健康医療対策課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	5,262人	5,802人	6,525人	7,176人	—	—
	—	—	—	91.5%	—	—
	—	—	—	A	—	—
【進捗状況】 中学生を対象としたサマーボランティアスクールや県大生・看護学校2校で実施。また、浜田警察署や医療機関・市職員・民生委員・図書館等業務上、支援者となる方を対象とした講座も開催した。						
【今後の取組】 認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進する。						

③ 地域生活支援拠点数の増加 ※障がい者の地域生活を支援する機能を集約した拠点数	0か所	1か所	0か所	0.0%	C	地域福祉課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	0か所	0か所	0か所	0か所	—	—
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—
	C	C	C	C	—	—
【進捗状況】 地域生活支援拠点整備の取組に向けて、法人等への説明及び設置の協力を行っており、また浜田圏域自立支援協議会においても同様に取組に向けた説明を重ねて行っている。精神障がい者の部分は、浜田保健所と協働し設置に向け説明を重ねている。						
【今後の取組】 それぞれの法人・事業所内の人材、職員数なども考慮しながら、設置に向け説明を継続していく。						

C 教育

ア 読書活動の強化

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 図書館利用登録率の増加 ※市民の図書館利用者カード登録者の割合 <目標達成>	34.3%	40.0%	46.1%	207.0%	A	中央図書館
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	36.3%	40.5%	42.9%	46.1%	—	—
	35.1%	108.8%	150.9%	207.0%	—	—
	B	A	A	A	—	—
【進捗状況】 登録者総数24,348人（2020年3月31日現在）。 移動図書館車での啓発等も2018年度から実施している。						
【今後の取組】 図書館からの情報発信を行うことにより、図書館の利用向上を図る。						
② 市民一人当たりの図書貸出冊数の増加 ※市民一人当たりの年間の図書貸出冊数	5.0冊	7.0冊	5.6冊	30.0%	B	中央図書館
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	5.4冊	5.3冊	5.8冊	5.6冊	—	—
	20.0%	15.0%	40.0%	30.0%	—	—
	B	B	B	B	—	—
【進捗状況】 2018年度は開館5周年事業の実施もあり、過去最高の貸出数であった。2019年度はその年と比較すると減となっているが、経年的には増加傾向である。						
【今後の取組】 引き続き、ボランティア団体等との連携を図りながら、イベントの開催等に絡めて、図書館の利用につなげていく。						

D 産業振興

ア 観光振興

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 宿泊客数の増加 ※市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊客数	225,043人	250,000人	218,736人	-25.3%	C	観光交流課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	237,352人	219,299人	224,046人	218,736人	—	—
	49.3%	-23.0%	-4.0%	-25.3%	—	—
	A	C	C	C	—	—
【進捗状況】 2019年9月に浜田駅前に新たなホテルが開業したこと、美又温泉国民保養センター、リフレパークきんたの里の両施設において新たな指定管理者による営業効果等によって浜田、金城エリアの宿泊者数は増加したが、ふるさと体験村の休業、中国電力三隅火力発電所関連の宿泊利用が少なかったため、市内全体の宿泊者数は減少となった。						
【今後の取組】 2020年2月の新型コロナウイルス感染症拡大により、宿泊施設は予約のキャンセルが相次ぎ、4月7日の緊急事態宣言以降、宿泊客数は激減した。観光需要が冷え込むなか、今後2年間は、宿泊客数の増加は見込めないと予想している。2020年度は、観光需要の回復に向け、国の『GO TO TRAVELキャンペーン』、島根県の『しまねプレミアム宿泊券』や当市のプレミアム付き「はまた飲食・宿泊応援チケット」及び「Welcome商品券」により観光需要の活性化を図り、もって宿泊者数の増加に努める。						

② 合宿等誘致人数の増加 ※合宿等誘致事業の年間利用人数	3,642人	5,000人	2,483人	-85.3%	C	観光交流課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	3,634人	4,036人	3,297人	2,483人	-	-
	-0.6%	29.0%	-25.4%	-85.3%	-	-
	C	B	C	C	-	-
【進捗状況】 市内宿泊施設や広島市内大学への営業活動及び、広島PRセンターとの連携による合宿誘致を進めている。新型コロナウイルス感染拡大の影響により2～3月の合宿件数は前年度に比べて6件減となり、申請件数は過去5年で最低となった。また、大口のリピーター団体からの申請が年々減っていることが、誘致人数の減少に大きな影響を与えている。						
【今後の取組】 引き続き、広島県内の大学等への営業活動を行うとともに、リピーター確保のため、広島PRセンターとの連携を行い合宿誘致を進める。また、利用者拡大のため、申請方法の見直しなどを行う。						

イ 地域ブランド化

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加 ※ブランド規格に基づく「どんちっち三魚」の取扱業者（団体）数	130店	140店				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	136店	138店	143店	143店	-	-
	60.0%	80.0%	130.0%	130.0%	-	-
	A	A	-	-	-	-
2018年度以降、目標値を162店に上方修正						
	130店	162店	143店	40.6%	C	水産振興課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	136店	138店	143店	143店	-	-
	-	-	40.6%	40.6%	-	-
	-	-	B	C	-	-
【進捗状況】 新規の加盟業者が無く、取扱事業者数は昨年度と変わらない結果となった。2019年度は、毎日の脂質検査などにより、3魚の中でも独自性の高いブランド化を行っている「どんちっちアジ」が、統計始まって以来最も少ない水揚げとなった。						
【今後の取組】 どんちっちアジを漁獲するまき網漁船の荷捌所が高度衛生管理型となるため、より安全・安心なブランド魚としてPRを行い、加盟店の増加による取扱量の拡大、消費の拡大に繋げていきたい。						
② 振興作物農業産出額の増加 ※振興作物（大粒ぶどう、赤梨、西条柿）の農業産出額	173,295千円	200,000千円	171,566千円	-6.5%	C	農林振興課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	158,671千円	193,627千円	175,982千円	171,566千円	-	-
	-54.8%	76.1%	10.1%	-6.5%	-	-
	C	B	C	C	-	-
【進捗状況】 大粒ぶどう及び西条柿については、猛暑・日照不足による着色不良が目立ち販売額の減少となった。赤梨については、数年前の廃園による影響で産出額が減少しているが、ジョイント栽培導入等の改植事業により継続した産地形成を図っていく。なお、大粒ぶどうのリースハウス事業等導入による事業効果は、2020年度以降、産出額に計上される見込みである。						
【今後の取組】 大粒ぶどうについては、引き続き、国県事業を活用し、面積拡大に取り組む。赤梨及び西条柿については、改植・補植に取り組むとともに、兼ねてからの課題である後継者育成のため、果樹栽培へ新規就農者等を取り込む活動を実施する。						

2 結びつきやネットワークの強化に係る取組

16項目

A 地域公共交通

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 生活路線バス1便当たり利用者数の維持 ※生活路線バス1便当たりの年間利用者数	2.0人/便	2.0人/便以上	1.4人/便	-30.0%	C	まちづくり推進課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	1.6人/便	1.5人/便	1.5人/便	1.4人/便	-	-
	-20.0%	-25.0%	-25.0%	-30.0%	-	-
	C	C	C	C	-	-
【進捗状況】 目標達成に至らなかった要因としては、人口減少とバスに乗ることができない高齢者の増加が挙げられる。一方で、敬老福祉乗車券交付事業を2019年度から制度を拡充し、住民の移動手段への経済的支援を、より充実させた。						
【今後の取組】 2020年度末で現在の運行契約が終了することから、2021年度からの運行計画の見直しに併せ、第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づき、それぞれの地域の実情に応じたより効率的な交通体系の構築を目指す。						

② 予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持 ※予約型乗合タクシー1便当たりの年間利用者数	1.8人/便	1.8人/便以上	1.7人/便	-5.6%	C	まちづくり推進課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	1.5人/便	1.6人/便	1.8人/便	1.7人/便	-	-
	-16.7%	-11.1%	100.0%	-5.6%	-	-
	C	B	A	C	-	-
【進捗状況】 自治区毎や路線毎にみると増加している所もあるものの、一部路線での利用者の減少により、目標達成には至らなかった。一方で、敬老福祉乗車券交付事業を2019年度から制度を拡充し、住民の移動手段への経済的支援を、より充実させた。						
【今後の取組】 2020年度末で現在の運行契約が終了することから、2021年度からの運行計画の見直しに併せ、第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づき、それぞれの地域の実情に応じたより効率的な交通体系の構築を目指す。						
③ 輸送事業に取り組む地域自主組織数の増加 ※主体的に輸送事業に取り組む地域自主組織の数 <目標達成>	1団体	3団体	3団体	100.0%	A	まちづくり推進課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	1団体	3団体	3団体	3団体	-	-
	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-
	B	A	A	A	-	-
【進捗状況】 3地区においてコミュニティワゴン運送（市からの無償貸与の自家用車を使用した輸送活動）が継続され、その活動を支援した。						
【今後の取組】 3地区における活動が継続されるよう引き続き支援する。						

B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 携帯電話不感地域の解消 ※携帯電話が利用できない集落の数 <目標達成>	8集落	0集落	0集落	100.0%	A	政策企画課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	8集落	8集落	1集落	0集落	-	-
	0.0%	0.0%	87.5%	100.0%	-	-
	D	D	A	A	-	-
【進捗状況】 2019年度末に現地調査を行ったところ、残る1地域の電波改善が確認された。このことにより、市内不感地域は0集落となった。						
【今後の取組】 総務省の基準による不感地域の解消は達成したが、基準外での電波状況の相談等に対応し、大手携帯キャリアへ改善の働きかけを行っていく。						

C 道路等の交通インフラの整備

ア 生活幹線道路の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 市道浜田527号線道路改良 ※〔浜田自治区〕浜田駅周辺の市道を整備し、駅南北の連絡を円滑にする。	0%	100%	50%	50.0%	A	建設整備課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	5%	13%	29%	50%	-	-
	5.0%	13.0%	29.0%	50.0%	-	-
	C	C	B	A	-	-
【進捗状況】 踏切北側の用地買収、建物移転がほぼ完了した。						
【今後の取組】 建物移転及び用地買収を進めていく。令和2年度から道路工事、踏切工事に着手し早期完成を目指す。						
② 市道小国峠線道路改良 ※〔金城自治区〕狭小な市道の改良を行う。	0%	50%	0%	0.0%	D	建設整備課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	0%	0%	0%	0%	-	-
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-
	D	D	D	D	-	-
【進捗状況】 県河川の改良に伴う事業のため、島根県に要望を行っている。						
【今後の取組】 島根県への要望を継続して行い、事業化を目指す。						

③ 市道戸地線道路改良 ※〔旭自治区〕集落間を結ぶ幹線市道の整備を行う。	10%	40%	32%	73.3%	B	建設整備課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	13%	18%	26%	32%	—	—
	10.0%	26.7%	53.3%	73.3%	—	—
	B	B	B	B	—	—
【進捗状況】 用地取得、補償については完了し、工事を継続実施している。						
【今後の取組】 引き続き、工事実施を進め、早期完成を目指す。						
④ 市道谷線道路改良 ※〔弥栄自治区〕主に突角剪除を行う。 2018年度以降、目標値を100%に上方修正	0%	50%				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	54%	76%	86%	95%	—	—
	108.0%	152.0%	172.0%	190.0%	—	—
	A	A	—	—	—	—
	0%	100%	95%	95.0%	A	建設整備課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	54%	76%	86%	95%	—	—
	—	—	86.0%	95.0%	—	—
	—	—	A	A	—	—
【進捗状況】 1～4工区のうち、2工区及び3工区が完了し、1工区及び4工区は工事を継続実施している。						
【今後の取組】 引き続き、工事実施を進め、令和3年度完成を目指す。						
⑤ 市道白砂1号線道路改良 ※〔三隅自治区〕急カーブ、狭小市道の改良、及び集落の環状機能の充実を図る。 2018年度以降、目標値を100%に上方修正	30%	50%				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	64%	85%	74%	86%	—	—
	170.0%	275.0%	220.0%	280.0%	—	—
	A	A	—	—	—	—
	30%	100%	86%	80.0%	B	建設整備課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	64%	85%	74%	86%	—	—
	—	—	62.9%	80.0%	—	—
	—	—	A	B	—	—
【進捗状況】 2018年度に全体事業費を見直したことから、進捗率が後退したような結果となったが、用地取得、補償については完了し、工事を継続実施している。						
【今後の取組】 部分的な設計見直しを行い、工事の進捗を早める。						

D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

A 地産地消の推進

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 学校給食での地域食材利用率の増加 ※市内小中学校の給食における地元食材利用率	58.2%	70.0%	68.0%	83.1%	B	教育総務課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	70.9%	71.8%	70.5%	68.0%	—	—
	107.6%	115.3%	104.2%	83.1%	—	—
	A	A	A	B	—	—
【進捗状況】 毎年、地元産品の活用を意識し献立を立て郷土料理や行事食等を提供している。予定していた地元産食材が気候等の理由で仕入れできない事例が複数あり、利用率が下回った結果となった。						
【今後の取組】 今後も積極的に地元産食材を使用していく。地元産の加工野菜について、昨年から継続して関係部局と協議を重ねており、給食に使用したい。浜田産アジまるごと一尾は食育の観点からも優れた食材であり継続して提供していく。						

E 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 定住施策の充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① U・Iターン者数の増加 ※各種支援制度を通じたU・Iターン者の数 2018年度以降、目標値を100人に上方修正	34人	50人				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	57人	95人	82人	90人	—	—
	143.8%	381.3%	300.0%	350.0%	—	—
	A	B	—	—	—	—
	34人	100人	90人	84.8%	B	政策企画課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	57人	95人	82人	90人	—	—
	—	—	72.7%	84.8%	—	—
	—	—	B	B	—	—
【進捗状況】 市の各種支援制度等を通じたU・Iターン者数は昨年度に比べて増加した。一方、島根県人口動態調査による数値は、減少した。 【参考】石見部他市の2019年度U・Iターン者数（島根県人口移動調査）大田市187人、江津市151人、益田市162人、浜田市169人（2018年度浜田市180人）						
【今後の取組】 定住相談員を中心に、ふるさと島根定住財団や関係部署と連携しながら、移住相談者の名簿管理の徹底と丁寧なフォローを行い、Uターン者の地元就職やIターン者の移住に結びつく取組を進める。また、地方創生推進交付金を活用したインターンシップなどを行い、都市部からの移住者の増加を図る。						
② U・Iターン者との意見交換会の開催回数の増加 ※意見交換会の年間開催回数 <目標達成>	1回	3回	3回	100.0%	A	政策企画課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	2回	2回	2回	3回	—	—
	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	—	—
	B	B	B	A	—	—
【進捗状況】 シングルペアレント就労人材育成事業の新規研修生受入時の歓迎交流会に加え、U・Iターン者と地域住民との意見交換会及び交流会を行った。						
【今後の取組】 シングルペアレント就労人材育成事業新規研修生受入時の歓迎交流会を開催することに加え、U・Iターン者との意見交換会等を移住定住支援組織と連携して開催する。						
③ U・Iターン相談件数の増加 ※定住フェア、空き家バンク制度等を通じた年間相談件数 <目標達成>	255人	300人	326人	157.8%	A	政策企画課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	286人	251人	202人	326人	—	—
	68.9%	-8.9%	-117.8%	157.8%	—	—
	A	C	C	A	—	—
【進捗状況】 堅調な景気を背景に、地方から東京圏への転出超過が続き、人口の一極集中は拡大している。近年の移住志向の流れは盛時を迎えているものの、定住相談員の丁寧なフォローが、相談件数の増加に繋がった。						
【今後の取組】 引き続き、定住相談員を配置し、U・Iターンの相談窓口業務を充実させる。また、移住相談者の名簿管理の徹底と丁寧なフォローを行いながら、Uターン者の地元就職やIターン者の移住に結びつく取組を進める。地方創生推進交付金を活用したインターンシップなどを行い、都市部からの移住者の増加を図る。						

イ 空き家の利活用

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 空き家バンク登録件数の増加 ※空き家バンクへの年間登録物件数	13件	20件				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	66件	71件	81件	70件	—	—
	757.1%	828.6%	971.4%	814.3%	—	—
	A	A	—	—	—	—
2018年度以降、目標値を71件に上方修正	13件	71件	70件	98.3%	A	政策企画課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	66件	71件	81件	70件	—	—
	—	—	119.2%	98.3%	—	—
	—	—	A	A	—	—
【進捗状況】 専用HP、SNS及び市報等で空き家バンク制度の周知を行うとともに、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応に努めた。空き家相談件数は減少したものの、登録件数は横ばいとなった。						
【今後の取組】 引き続き、制度の周知に努めるとともに、関係機関と連携を図りながらU・Iターン者等の住環境の整備及び空き家の利活用を促進する。なお、2019年4月に県が土砂災害特別警戒区域を指定した影響は、今のところ見られない。						

ウ 安全で安心なまちづくり

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 自主防災組織の組織率の増加 ※世帯数に対する組織された地域の世帯数の割合	46.5%	85.0%	66.8%	52.7%	C	防災安全課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	65.8%	66.1%	66.1%	66.8%	—	—
	50.1%	50.9%	50.9%	52.7%	—	—
	A	C	C	C	—	—
【進捗状況】 2019年度は7組織が設立された。防災出前講座等で防災まちづくり事業をPRし組織化支援を強化している。						
【今後の取組】 2020年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、防災出前講座での啓発活動が少なくなっているが、広報等複数媒体により出前講座の紹介を強化し、組織化支援に努める。						
② 防犯出前講座の開催回数の増加 ※講座の年間開催回数	6回	40回	10回	11.8%	C	防災安全課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	5回	9回	4回	10回	—	—
	-2.9%	8.8%	-5.9%	11.8%	—	—
	D	B	C	C	—	—
【進捗状況】 警察署が特殊詐欺対策の講座に力を入れており、市全体の講座回数は増えている。市独自の講座回数は上がっていないが、警察署と連携して取り組んでいる。						
【今後の取組】 防災出前講座との共催、警察署との連携強化をしていく。						

3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

3項目

A 宣言中心市等における人材の育成

ア 人材の育成

成果指標	策定時 現状値	目標値	2019年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 市民交流促進事業実施件数の増加 ※大学等と市民団体が実施する交流事業の6年間の合計件数	6件	50件	50件	100.0%	A	まちづくり推進課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	12件	10件	16件	13件	—	—	
	<目標達成>	24.0%	44.0%	76.0%	100.0%	—	—
	A	A	A	A	—	—	
【進捗状況】 例年継続して行う事業のほかに、2019年度新たに学生と協力して行った事業もあり、学生の地域活動への参画を促すことができた。2019年度、申請時は14件であったが、年度末の新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止となり、2件取下げとなった。							
【今後の取組】 引き続き、新たな交流が生まれるよう、学生、地域双方に広報、浜田市ホームページ等を通じた積極的な周知に努める。							

② 人材育成研修会等の開催回数の増加 ※地域リーダー育成に関する研修会の年間開催回数	2回	6回	2回	0.0%	B	まちづくり推進課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	3回	3回	3回	2回	—	—
	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	—	—
	B	B	B	B	—	—
【進捗状況】 「公民館のコミュニティセンター化に係る研修会」、「協働のまちづくりフォーラム」を開催し、新たな住民主体のまちづくりに向けた人材育成事業に取り組んだ。なお、「先進地視察研修（中山間地域調査研究事業）」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止した。						
【今後の取組】 協働のまちづくり推進条例や公民館のコミュニティセンター化に係る研修会等を開催し、地域リーダーを含めた人材育成に取り組む。						
③ 審議会等への女性参画率の増加 ※浜田市男女共同参画推進計画に掲げる審議会等への女性参画率	25.2%	40.0%	24.3%	-6.1%	C	人権同和教育啓発センター
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	27.1%	29.2%	22.9%	24.3%	—	—
	12.8%	27.0%	-15.5%	-6.1%	—	—
	B	B	C	C	—	—
【進捗状況】 男女共同参画の関係団体から各審議会等の委員に就任するなど、女性委員の登用について啓発している。						
【今後の取組】 各審議会等へ積極的に女性委員に就任していただくよう、関係各課へ女性委員登用の重要性の周知をしていく。また、委員選出の際の働きかけも、引き続き依頼していく。						